

第1回災害ケースマネジメント研修実施要項

1. 研修テーマ

東日本大震災以降、災害支援の新たな考え方として、一人ひとりの被災者の状況に応じた支援を実施する「災害ケースマネジメント」という考え方が主流になりつつある。

その理由として、大規模な地震災害、豪雨災害などにより、自宅が破損した場合、その自宅の建物の被害状況(罹災証明書)によってのみ、受けられる支援サービスが決まってしまう現行制度では、自立再建ができない世帯も多く、問題視されているからだ。故に建物の被害のみならず、一人ひとりの現状に応じた支援サービスを展開すべきという意見が多くなり、災害ケースマネジメントという言葉が広がっている。鳥取県では、平成 29 年鳥取地震の発災後、一人ひとりの被災者の状況に応じてサポートをすすめる「災害ケースマネジメント」の条例が制定され、柔軟な運用をスタートさせている。南海トラフ地震が30年以内に発生する確率が非常に高いと予測されている徳島県において、「災害ケースマネジメント」という考え方を発災前に学ぶ意義は極めて大きい。

そして、いざ発災した後、被災者を支援していくなかで、欠かせない存在は、行政と被災者、地域とNPOやNGOの市民団体などをつなぎ、被災地と被災者の復興の後押しをする「中間支援組織」という存在が必要であり、今回は、「中間支援組織とはどのようなことをするのか」、「どのような機能や役割を担うのか」などを学ぶための研修会を開催する。

2. 講義内容・講師

講義1「災害ケースマネジメントの考え方」 大阪市立大学准教授 菅野拓氏

講義2「被災地における中間支援組織の役割について」 福島大学特任教授 天野和彦氏

3. 主催・協力

主催：NPO 法人ワンファミリー仙台、NPO 法人 YNF、一般社団法人さいわい

協力：一人ひとりが大事にされる災害復興法をつくる会

4. 本研修の対象者

徳島県内の自治体、自治体職員、県市町村社協、社協職員、NPO 等の市民団体、町内会役員、民生児童委員など、災害発生した場合に地域で核となる人や災害ケースマネジメントに関心のある市民

5. 開催日時・開催方法・定員・参加費

令和3年10月5日(火) 10時00分～16時30分、会場研修は20名・オンライン研修は100名

※コロナ感染症の状況に応じて、すべてをオンラインにする場合がありますので、ご了承ください。

オンライン配信の詳細は申込時にお知らせいただいた各参加者のEメールアドレス宛てに後日ご連絡します。

研修の受講希望者は要予約。参加費は無料。

6. 開催会場

とくぎんトモニプラザ 4階会議室 2 (徳島県徳島市徳島町城内 2番地 1)

7. 参加申込み期日

令和3年9月30日(木)

8. 個人情報取り扱い

参加申込書に関する個人情報は適切に取り扱い、ご本人の同意なく第三者へ提供または開示いたしません。当法人に関するセミナーや催し等に関する情報提供等に活用させていただく場合がございます。

9. 研修の問い合わせ・申し込み先

NPO 法人ワンファミリー仙台 総務企画課 (担当:高崎・堀井)

〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町4-26 リバティーハイツ二日町102

NPO 法人ワンファミリー仙台内 TEL 022-738-7848 FAX 022-738-7849

e-mail soumu@onefamily-sendai.jp

10. 研修内容

時間(予定)	プログラム
<p>10:00</p> <p>12:00 (120分)</p>	<p>事務連絡(事務局) 開会あいさつ(主催:NPO 法人ワンファミリー仙台、一般社団法人さいわい)</p> <p>講義1 「災害ケースマネジメントとは」 講師:大阪市立大学大学院文学研究科 准教授 菅野拓氏</p> <p>講師プロフィール: 大阪市立大学大学院 文学研究科 准教授。大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。博士(文学)。専門は人文地理学、都市地理学、サードセクター論、防災・復興政策。東日本大震災発災直後からパーソナルサポートセンターにて仙台市と協働し、被災者生活再建支援事業・生活困窮者自立支援事業を立ち上げ、現在は理事。最近の主な委員として復興庁「多様な担い手による復興支援ビジョン検討委員会」ワーキンググループメンバー、熊本市「復興検討委員会」委員などをつとめる。</p> <p>講義内容:東日本大震災以降の災害において、一人ひとりの状況に応じた支援の必要性が認識されるようになった。その背景には、従来の罹災証明書をベースとした公的支援だけでは自立再建ができない、単身高齢者といった支援が必要な人の増加にある。このような状況のなか、様々な被災地で、一人ひとりの状況を把握し、平時の福祉サービスをも組み合わせたオーダーメイド型の被災者生活再建=災害ケースマネジメントが試行されている。この言葉を日本に定着させた被災者支援の専門家の大阪市立大学院准教授の菅野拓先生を講師に招き、「災害ケースマネジメント」とはどのようなものなのかという基礎を学びます。</p>
<p>昼食休憩 (60分)</p>	<p>各自昼食休憩</p>



一人ひとりが大事にされる災害復興法をつくる会

時間(予定)	プログラム
<p>13:00</p> <p> </p> <p>15:00 (120分)</p>	<p>講義2 「災害時に被災者の直接支援を実施する支援団体等をコーディネートする中間支援組織の機能・役割について」</p> <p>講師:福島大学 特任教授 天野和彦氏</p> <p>講師プロフィール:1959年福島県会津若松市出身。2011年3月11日の東日本大震災、東京電力福島第一原発事故に際し、約2500人の被災者を受け入れ、福島県内最大規模といわれた「ビッグパレットふくしま避難所」の県庁運営支援チーム責任者として運営に携わる。現在、一般社団法人ふくしま連携復興センター代表理事、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授</p> <p>講義内容:被災地における被災者支援の NGO や NPO や市民団体が被災者の支援を実施するにあたり、欠かせない存在は中間支援組織である。中間支援組織が自治体(行政)や社協、そして避難所や地域との調整をはかることで、被災地の被災者支援の偏りや被災者ニーズをいち早くキャッチすることができる。この調整機能なくして、被災者の支援はすすまない。今回は福島県における中間支援組織であるふくしま連携復興センター代表理事の天野和彦氏から「被災地における中間支援組織の機能と役割」について学びます。</p>
<p>15:10</p> <p> </p> <p>16:20 (70分)</p>	<p>実践報告「中間支援組織のサポートによって、被災地における支援がどれだけ進んだのか！九州豪雨災害における取組紹介」</p> <p>発表者:NPO 法人 YNF 代表理事 江崎太郎</p> <p>講師プロフィール:平成 29 年 7 月に発生した九州北部豪雨の災害支援のために YNF を設立。ニーズが個人個人で異なり対応が難しく、支援が行き届かない可能性の高い「在宅被災世帯」を中心に支援活動を展開。その後も各地で毎年のように発生する豪雨災害等に対し、支援団体やボランティアなどと協働しながら現地のニーズに合わせたフレキシブルな活動を行っている。現在、NPO 法人 YNF 代表理事。</p> <p>発表内容:中間支援組織と実行団体の違いをわかりやすく事例を通して紹介いただきます。</p>
<p>16:20 (10分)</p>	<p>閉会あいさつ(協力団体:一人ひとりが大事にされる災害復興法をつくる会)</p>

11. 申し込み用紙

申し込み方法は下記の3通りあります。いずれかの方法でお申込みください。受け付けましたら事務局から受付のご連絡を差し上げますので、申し込みから3営業日経過しても受付の連絡がない場合はお手数ですがお電話をお願いいたします。

■下記の必要事項をメール本文に書き、メール件名を「第1回災害ケースマネジメント研修参加申し込み」として事務局 soumu@onefamily-sendai.jp へ送る。

■申込用紙に必要事項を記入したのち、PDFにしてメールに添付し、「第1回災害ケースマネジメント研修参加申し込み」として 事務局 soumu@onefamily-sendai.jp へ送る。

■申込用紙に必要事項を記入したのち、FAXで事務局 022-738-7849 へ送る。

オンライン配信の詳細は申込時にお知らせいただいた各参加者のEメールアドレス宛てに後日ご連絡します。

第1回災害ケースマネジメント研修 事務局(担当:高崎・堀井)NPO法人ワンファミリー仙台内

メール送付先 soumu@onefamily-sendai.jp

FAX送信先 022-738-7849

研修参加申し込み (1人1枚ご記入ください)		
所属		
参加者氏名		
従事状況 いずれかにチェック	現在、災害に関わる活動に 従事しているか	<input type="checkbox"/> している <input type="checkbox"/> していない
Eメールアドレス 資料・招待URLの送付先		
会場受講 いずれかをチェック	会場受講を希望するか (定員20名)	<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない
オンライン受講 いずれかにチェック	オンライン受講を希望するか	<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない
当日連絡がとれる 電話番号		
FAX番号		
備考	会場受講を希望しても、定員や新型コロナウイルス感染症拡大によりオンライン研修になることがありますので、ご了承ください。	